

調査項目「部活動の地域展開」

1. はじめに

学校部活動は、生徒が仲間との活動を通して自主性や協調性、責任感を育むなど、成長に大きな役割を果たし、かつ放課後の居場所機能も持ち合わせていたが、少子化の進行や教員の働き方改革など、従来の学校部活動の仕組みだけでは、将来にわたり持続可能な活動環境を確保することが難しくなっている。

こうした中、学校だけで部活動を支えるのではなく、地域の多様な人材や団体と連携しながら、子どもたちが継続してスポーツや文化芸術活動に親しむことのできる環境を整えていく「部活動の地域展開」が進められている。

本市においても「みのお地域クラブ」による活動が進められており、今後さらに地域展開を進めていくためには、指導者や活動場所の確保、運営のあり方、参加者の負担、移動手段など、実施に伴う具体的な課題を検証していく必要がある。

このような背景から、文教常任委員会として、本市における持続可能な部活動の地域展開について具体的な調査・研究を行う必要があると考え、「部活動の地域展開」を調査テーマに決定した。

2. 調査経過

日 時	活 動	概 要
R 8. 2. 2 R 8. 2. 3	視 察	・ 静岡県磐田市（磐田市役所） ・ 神奈川県秦野市（秦野市役所） 『部活動地域展開の取り組みについて』
R 8. 5. 15 R 8. 5. 16	地域別意見交換会	市内3カ所で開催 『部活動の地域展開』をテーマに地域住民の方々とグループディスカッション形式で意見交換
R 8. 6. 25	分野別意見交換会	『部活動の地域展開の課題と展望について』をテーマに、箕面市の「みのお地域クラブ」に認定されている団体の代表の方々（12名）との意見交換

3. 調査報告と提案

(1) 国が進める部活動改革の方向性や今後の制度について情報収集を行うとともに、先進自治体における地域クラブの運営方法、指導者の確保、活動場所、費用負担、行政の支援などについて調査した。

また、本市において「みのお地域クラブ」として活動している団体との意見交換を実施し、実際に運営する立場から、現状や課題、行政に求める支援などについて意見を聴取した。

(2) 視察

令和8年2月、部活動の地域展開に関する先進事例を調査するため、静岡県磐田市及び神奈川県秦野市を視察した。両市の取り組みを通じ、部活動の地域展開は、単に学校部活動を地域へ移行するものではなく、少子化が進む中でも、子どもたちがスポーツや文化芸術活動を継続できる環境を確保するための取り組みであることを改めて認識した。

磐田市では、教育委員会が事務局となり、参加者募集や会計、保険、指導者への謝金支払いなどを一括して担うことで、地域クラブの事務負担を軽減する仕組みが構築されていた。

一方、秦野市では、急激な制度変更による現場の混乱を避け、平日は学校部活動、休日は地域クラブとして活動するなど、段階的に地域展開を進めていた。

両市の視察から、指導者や活動場所の確保、費用負担、学校施設の利用など共通する課題がある一方、行政が一定の役割を担いながら、地域や民間の力を生かして持続可能な仕組みを構築することの重要性を確認した。箕面市においても、子どもたちの活動機会の確保を中心に据え、本市の実情に即した地域展開を段階的に進めていく必要がある。

(3) 分野別意見交換会

分野別意見交換会では、実際に「みのお地域クラブ」を運営する立場から、参加者の確保、指導者や運営人材の確保、活動場所、会費などの保護者負担、用具や運営にかかる経費、活動場所までの移動手段など、現場が抱えるさまざまな課題について率直な意見を伺うことができた。また、運営費や用具等への支援、参加者への経済的支援、移動手段への支援など、活動を継続していくために行政に求める支援についても具体的な意見が出された。

終始、忌憚のない活発な意見交換が行われ、「みのお地域クラブ」の実情を直接把握する貴重な機会となった。また、参加した代表者からも、「このように意見を交わす機会ありがたい」「今後も継続してほしい」との声があり、行政や議会が現場の声を聞くだけでなく、「みのお地域クラブ」同士が課題や情報を共有する場としても意義があることを確認した。

今後も「みのお地域クラブ」との対話を重ね、現場の実情や課題を的確に把握しながら、子どもたちが安心して継続的に活動できる環境づくりにつなげていくことが重要である。

4. その他（引き継ぎ事項等）

部活動の地域展開は現在も進行途上にあり、今後の取り組み状況を継続して確認していく必要がある。

特に、「みのお地域クラブ」との分野別意見交換会では、運営上の課題や行政に求める支援について現場から直接意見を聞くことができ、参加団体からも、このような機会を今後も継続してほしいとの声があった。地域展開を持続可能なものとするためには、制度を整えるだけでなく、実際に活動を担う「みのお地域クラブ」との継続的な対話が重要である。

次年度においても、「みのお地域クラブ」の活動状況や、指導者・活動場所の確保、費用負担、移動手段などの課題について検証するとともに、子どもたちや保護者の声にも目を向けながら、地域展開によって子どもたちの活動機会がどのように変化しているのかを確認していくことが望まれる。

また、国の制度や支援策についても動向を注視し、本市の取り組みに適切に活用されているかを確認しながら、箕面市の実情に即した持続可能な部活動の地域展開につなげていくことを注視していく必要がある。

5. おわりに

一年間の調査研究を通じて、部活動の地域展開は、単に学校部活動を地域へ移すことではなく、少子化が進む中においても、子どもたちがスポーツや文化芸術活動に親しみ、やりたいことに挑戦できる環境を将来にわたって守っていくための取り組みであり、また居場所としての機能も果たしていることを改めて認識した。

一方で、地域展開を持続可能なものとするためには、指導者や活動場所の確保、運営体制、費用負担、移動手段など、解決すべき課題も多い。行

政視察や「みのお地域クラブ」との意見交換を通じて、それぞれの地域の実情に応じた仕組みづくりと、実際に活動を担う方々との継続的な対話の重要性を確認することができた。

今後、地域展開が進む中であっても、制度や運営のあり方が先行するのではなく、常に「子どもたちにとってどうあるべきか」という視点を中心に据えることが重要である。

すべての子どもたちが、家庭の経済状況や居住地域などにかかわらず、自ら選んだ活動に参加し、仲間とともに成長できる環境を地域全体で支えていくことをめざし、今回の調査研究が、箕面市におけるより良い部活動の地域展開につながることを期待し、本委員会の調査報告の結びとする。